

106 ヤマセミ

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク:B

Megaceryle lugubris

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

本州、四国、九州では留鳥、北海道には別亜種エゾヤマセミが留鳥として分布する。兵庫県では局地的ではあるが周年見られる。山麓から山地の溪流や水のきれいな河川中流から上流、森林に囲まれた湖沼に生息し、土の崖に穴を掘って営巣する。主に魚類を捕食する。



写真提供: 正井憲一

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、屋久島、種子島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(明石市)、西宮市、(芦屋市)、豊岡市、西脇市、宝塚市、三木市、(川西市)、(小野市)、三田市、篠山市、養父市、丹波市、朝来市、淡路市、宍粟市、(たつの市)、(猪名川町)、(多可町)、(市川町)、神河町、(佐用町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
かつては県中・北部の山間溪流に、個体数は限られているものの、普通に見られていた。近年の河川環境の改変に伴い、個体数、分布域ともに急減しており、局地的消滅の危険度は極めて高い。

保護上の留意点

河川中上流部の渓流域やダム周辺に生息し、餌場から近い崖地に穴を掘って営巣する。両方が揃う場所が限定されることから、現在の生息域の渓流域の環境と共に水質の保全が必要。既知の繁殖地では、繁殖期における本種の生息水域でのレジャー的な利用などの人の立ち入りを制限することが必要。